

令和4年度決算概要について

令和4年度決算の概要を取りまとめましたので、お知らせします。

1 令和4年度決算概要

(1) 令和4年度決算のポイント

ア 一般会計の規模

歳出総額は5,229億8,600万円となり、対前年比で203億1,600万円、4.0%の増となった。

歳入・歳出ともに令和2年度に次ぐ2番目の規模。

歳入総額	5,298億5,900万円
	(対前年度比 +207億4,700万円、+4.1%)
歳出総額	5,229億8,600万円
	(対前年度比 +203億1,600万円、+4.0%)

イ 実質収支の確保

一般会計の実質収支は、歳入において、市税が予算に比べ増収となったこと、また、歳出において、効率的な予算執行に努めた結果、55億6,500万円を確保。
(令和3年度：29億7,900万円)

ウ 財政の健全性の維持

市民生活に必要な公共施設の更新などを行った結果、全会計市債残高については、対前年度比92億円の増となる一方、基金借入金残高を着実に削減し、対前年度比20億円の減となるなど、「千葉市中期財政運営方針」を踏まえた財政運営に努めた。

(2) 健全化判断比率等

ア 健全化判断比率

将来負担比率については、対前年度比で増加したものの、実質公債費比率については、対前年度比で低減。

実質公債費比率	10.6%	(対前年度比△0.6P、早期健全化基準 25.0%)
将来負担比率	125.0%	(対前年度比+9.0P、早期健全化基準400.0%)

イ 資金不足比率

対象となる6会計でいずれも発生していない。